The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	TA (Teaching Assistant) の声　サイバーメディアフォーラム no.19　CALLシステム
Author(s)	
Citation	サイバーメディア・フォーラム. 2019, 19, p. 40-40
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/73413
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

TA として学んだこと

堤崎　暁（文学研究科　文化表現論専攻）

1.　はじめに

私は、2018 年度 4 月から水曜日 1 限目のフランス語初級の TA を担当させていただいております。大学教員を目指している私にとっては、大学教育の現場に身を置ける貴重な機会となっています。以下、TA として授業に臨む中で私が感じたことを報告させていただきます。

2.　学生を通して

受講生の大部分は医学部などの理系の学生であり、フランス語専門の学生ではありません。また、1 回生の学生の多くにとってフランス語を学ぶのは初めての機会です。そのため、苦しみながらもフランス語習得に向けて真摯に取り組む姿がよく見られます。1 限目の授業ではありますが、私が教室に入ると半数以上の学生がすでに着席し、互いに単語の問題を出し合ったり、課題の確認をしている学生もいます。

また、岩根先生が作成されているウェブサイトを使って、動詞の活用の練習をしている姿もよく見かけます。さらには、単語の学習ソフトを用いて単語の勉強をしている学生もいます。そのような光景を目にするたびに、学生たちの学習意欲に刺激を受けるとともに、パソコンを利用して言語の学習ができるという CALL 教室の利点を再認識させられます。

3.　ロイロノート・スクールについて

この授業では、「ロイロノート・スクール」という授業支援ソフト・アプリを利用しています。このアプリを通じて学生たちが課題を提出し、その課題を先生が添削していくという形式を取っています。この時、先生が操作しているパソコンの画面が、学生の各座席に設置されたモニターに映し出されるため、学生全員が自分の目の前で添削の様子を見ることができるようになっています。この形式では、通常の教室での授業と比べると格段に板書が見やすくなるため、学生一人一人の学習意欲や学習効率の向上に繋がっていると感じました。

また、このアプリでは画像やメモなどを自分のアカウントに保存することが可能であり、スマートフォンでも共通のページを開くことができるため、自宅や通学中などでも「ロイロノート・スクール」を用いて学習することができます。多くの学生が大学に入学して初めて経験する第二外国語の学習ですが、このようなアプリを利用することで学習に取り組みやすくなり、結果的に学生たちの学力向上に大きく寄与していると強く感じています。

4.　おわりに

以上のように、TA として授業に携わらせていただく中で、CALL 教室での授業だからこその利点を日々感じています。また、学生たちの学習意欲、コンピューターを使っての授業方法など、私自身も授業を通して多くのことを学ぶことができ、非常に貴重な経験をさせていただいております。TA の仕事を通して得た経験は、今後また TA をさせていただく時だけでなく、他のあらゆる場面に活かしていきたいと考えています。